

研修プログラム名【 消化器乳腺外科専門医養成プログラム 】

1. 診療科（専門領域）

消化器外科と入選外科と化学療法

2. 研修期間

5年

3. 募集人数

2人

4. 短期目標

消化器外科と乳腺外科の診断、治療、教育計画

化学療法の適正使用と治療計画

手術手技を400例以上経験できる。

5. 短期取得手技

1年目：外科医としての基本手技の習得

虫垂炎、ヘルニア、痔核、痔瘻、胃切除、大腸切除、腹腔鏡下手術の執刀、肝胆膵悪性手術の助手、乳房および腹部超音波検査の読影、診断、内視鏡、消化管透視、CT、MRCP、PTCDの読影診断、消化器癌、乳ガンの病期診断および治療方針の判断と評価、放射線治療、化学療法の適応判断と奏功の評価。化学療法の有害事象の適切な対応。緩和治療の判断と適切な実施、奏功の評価。

外科関連学会および研究会での症例報告、臨床研究への参加。

2年目：外科専門医の協力診療科での手術経験と消化器外科乳腺外科での研鑽
呼吸器外科、心臓外科の指導医のもとに外科関連領域の手術を経験。

病理科において臓器手術材料の肉眼観察、切り出し、病理診断

食道手術、開胸、開腹手術の経験および周術期管理。

外科関連学会および研究会での症例報告、研究発表、症例報告の論文作成。

3年目：消化器外科専門領域および乳癌制癌治療の研修。

4年目：消化器外科専門領域および乳癌制癌治療の研修。

5年目：肝胆膵実質臓器の外科研修および乳癌治療の研修。

6. 診療科の実績と目標症例数
症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）	目標症例数（5年間）
乳ガン	100	100
食道癌	20	20
胃癌	140	100
胆石症	90	100
肝胆膵腫瘍	70	50
大腸癌	120	100
虫垂炎	30	50
鼠径ヘルニア	70	70
イレウス	30	30

手技	件数（年間）	目標件数（5年間）
乳癌	70	70
食道癌	10	10
胃癌	100	70
胆石症	70	70
肝胆膵腫瘍	50	50
大腸癌	80	70
虫垂炎	30	70
鼠径ヘルニア	70	80
イレウス	10	30

7. 診療科の指導体制

診療科医師数 8 常勤 名、非常勤 名

診療科研修の指導にあたる医師 4 名

主として研修指導にあたる医師の氏名

伊藤 豊

〃

診療科経験年数

18 年

8. コンセプト

基本的な外科医として姿勢、基本的知識、スキルを身につけさせる。

制ガン化学療法の計画立案、安全実施ができるようにする。

研修終了時には、外科サブスペシャリストの各分野、化学療法専門医への円滑な専行
ができるように育む。

日本外科学会専門医の受験資格が得られるようにする。

9. 共通領域研修について

月 2 回、肝臓病カンファレンス開催

毎週 症例検討会の開催

年 1 回 医科器械習熟のための研修。